

授業科目	*成人看護学演習				単位	2		
履修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU21312J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2			
担当教員	高橋 甲枝、井手 裕子、財津 倫子、中原 智美、大嶋 満須美、飯野 祥之							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>急性期あるいは慢性期病棟において、臨床看護師としての実務家経験を有し、さらに外科系、内科系における臨地実習指導経験をもとに講義・演習を行う。</p> <p>1. 健康障害を持つ成人期にある療養生活を支援するために必要な看護能力を育成することを目的として、模擬患者情報を用いて看護過程を展開する。 演習方法は主体的な協同学習活動で進める。</p> <p>2. 成人期における療養生活を支援するための生活援助技術、診療補助技術、セルフケア確立技術等を実務経験のある教員の指導のもと演習する。 尚、対面で授業を行うが、必要に応じて遠隔授業の場合はその都度指示を行う。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>【看護過程】</p> <p>1. 模擬患者の疾病に関連する基盤的知識を述べることができる(DP1-2,2-1)</p> <p>2. 事例に関心・意欲を持ち看護過程の展開ができる(DP3-1,3-2,4-1)</p> <p>3. 模擬患者情報を枠組みを用いて全人的に捉える(DP2-1)</p> <p>4. 健康問題に対する個別性のある看護計画を立案できる(DP2-1)</p> <p>5. 経過に基づいて SOAP を記述し患者の状況を評価できる(DP2-1)</p> <p>6. 協同学習におけるリーダーシップ・メンバーシップの役割を身につけることができる(DP4-1)</p> <p>【看護技術】</p> <p>1. 課題となる援助技術を患者の安全・安楽をふまえて実施できる(DP2-1,4-2)</p> <p>2. 患者の心理面への配慮した行動がとれる(DP2-1,4-2)</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	30	0	40	0	0	30	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	10						10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	20		25			25	70	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			5				5	
関心・意欲 (DP3-2)			5				5	
態度(DP4-1)			5				5	
態度(DP4-2)						5	5	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
・看護過程に関する目標 6 項目と技術演習に関する目標 2 項目を 80%以上達成している。				・看護過程に関する目標 6 項目と技術演習に関する目標 2 項目を 70~80%達成している。				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 演習概要説明 看護技術演習 (担当:成人担当者全員) * A・B の 2 グループに分かれて演習 A: 糖尿病食事療法における患者教育 B: 血糖自己測定・インスリン自己注射	・シラバスを用いて オリエンテーション を行う ・技術演習	* オリエンテーション資料参照 課題技術の確認	60
2	看護技術演習 (担当:成人担当者全員) * A・B の 2 グループに分かれて演習 A: 糖尿病食事療法における患者教育 B: 血糖自己測定・インスリン自己注射	・技術演習	* オリエンテーション資料参照 課題技術の確認	60
3	看護技術演習 (担当:成人担当者全員) * A・B の 2 グループに分かれて演習 A: 血糖自己測定・インスリン自己注射 B: 糖尿病食事療法における患者教育	・技術演習	* オリエンテーション資料参照 課題技術の確認	60
4	看護技術演習 (担当:成人担当者全員) * A・B の 2 グループに分かれて演習 A: 血糖自己測定・インスリン自己注射 B: 糖尿病食事療法における患者教育	・技術演習	* オリエンテーション資料参照 課題技術の確認	60
5	看護過程(肝硬変)① (担当:成人担当者全員) ・初回オリエンテーション ・課題の解説と説明 ・アセスメントの検討	・看護過程オリエンテーション ・看護過程確認テスト ・講義 ・グループワーク	* オリエンテーション資料参照 * 事前に「看護過程論」の復習をしておくこと(確認テスト)	60
6	看護過程(肝硬変)① (担当:成人担当者全員) ・アセスメントの検討	・グループワーク	* オリエンテーション資料参照	60
7	看護過程(肝硬変)② (担当:成人担当者全員) ・アセスメントの検討	・グループワーク	* オリエンテーション資料参照	60
8	看護過程(肝硬変)② (担当:成人担当者全員) ・アセスメントの検討 ・説明	・グループワーク ・講義	* オリエンテーション資料参照	60
9	看護過程(肝硬変)③ (担当:成人担当者全員) 解説と説明 ・全体像 ・統合の過程 ・看護問題の明確化 ・問題リスト	・講義 ・グループワーク	* オリエンテーション資料参照	60
10	看護過程(肝硬変)③ (担当:成人担当者全員) ・全体像 ・統合の過程 ・看護問題の明確化 ・問題リスト	・グループワーク	* オリエンテーション資料参照	60
11	看護過程(肝硬変)④ (担当:成人担当者全員) ・看護目標設定 ・看護計画立案	・グループワーク	* オリエンテーション資料参照	60
12	看護過程(肝硬変)④ (担当:成人担当者全員) 発表、発表後の修正 ・看護目標設定 ・看護計画立案 解説と説明	・グループワーク ・講義	* オリエンテーション資料参照	60

13	看護過程(肝硬変)⑤ (担当:成人担当者全員) 解説 ・経過記録 ・評価日評価	・講義 ・グループワーク	*オリエンテーション資料参照	60
14	看護過程(肝硬変)⑤ (担当:成人担当者全員) ・経過記録 ・評価日評価	・グループワーク	*オリエンテーション資料参照	60
15	*A・Bの2グループに分かれて演習 (担当:成人担当者全員) A:技術演習(手術直後の観察・援助) B:看護過程(肝硬変)⑥ ・まとめ、質疑応答	A: ・技術演習 B: ・講義 ・グループワーク ・個人ワーク	*オリエンテーション資料参照 課題技術の確認	60
16	*A・Bの2グループに分かれて演習 (担当:成人担当者全員) A:技術演習(手術直後の観察・援助) B:看護過程(肝硬変)⑥ ・まとめ、質疑応答	A: ・技術演習 B: ・講義 ・グループワーク ・個人ワーク	*オリエンテーション資料参照 課題技術の確認	60
17	*A・Bの2グループに分かれて演習 (担当:成人担当者全員) A:看護過程(肝硬変)⑥ ・まとめ、質疑応答 B:技術演習(手術直後の観察・援助)	A: ・講義 ・グループワーク ・個人ワーク B: ・技術演習	*オリエンテーション資料参照 課題技術の確認	60
18	*A・Bの2グループに分かれて演習 (担当:成人担当者全員) A:看護過程(肝硬変)⑥ ・まとめ、質疑応答 B:技術演習(手術直後の観察・援助)	A: ・講義 ・グループワーク ・個人ワーク B: ・技術演習	*オリエンテーション資料参照 課題技術の確認	60
19	看護過程(胃がん)① (担当:成人担当者全員) 解説と説明 ・データベースとアセスメントの検討 ・全体像	・講義 ・グループワーク	*オリエンテーション資料参照	60
20	看護過程(胃がん)① (担当:成人担当者全員) ・データベースとアセスメントの検討 ・全体像	・グループワーク	*オリエンテーション資料参照	60
21	看護過程(胃がん)② (担当:成人担当者全員) 解説と説明 ・統合の過程 ・看護問題の明確化 ・問題リスト ・看護目標	・講義 ・グループワーク	*オリエンテーション資料参照	60
22	看護過程(胃がん)② (担当:成人担当者全員) ・統合の過程 ・看護問題の明確化 ・問題リスト ・看護計画	グループワーク	*オリエンテーション資料参照	60
23	*A・Bの2グループに分かれて演習 (担当:成人担当者全員) A:看護過程(胃がん)③ ・看護目標 ・看護計画の視点	A: ・講義 ・グループワーク ・個人ワーク B:	*オリエンテーション資料参照 課題技術の確認	60

	B:技術演習(手術後の援助[清潔ケア・離床])	・技術演習		
24	*A・Bの2グループに分かれて演習 (担当:成人担当者全員) A:看護過程(胃がん)③ ・看護目標 ・看護計画の視点 ・まとめ B:技術演習(手術後の援助[清潔ケア・離床])	A: ・講義 ・グループワーク ・個人ワーク B: ・技術演習	*オリエンテーション資料参照 課題技術の確認	60
25	*A・Bの2グループに分かれて演習 (担当:成人担当者全員) A:技術演習(手術後の援助[清潔ケア・離床]) B:看護過程(胃がん)③ ・看護目標 ・看護計画の視点	A: ・技術演習 B: ・講義 ・グループワーク ・個人ワーク	*オリエンテーション資料参照 課題技術の確認	60
26	*A・Bの2グループに分かれて演習 (担当:成人担当者全員) A:技術演習(手術後の援助[清潔ケア・離床]) B:看護過程(胃がん)③ ・看護目標 ・看護計画の視点 ・まとめ	A: ・技術演習 B: ・講義 ・グループワーク ・個人ワーク	*オリエンテーション資料参照 課題技術の確認	60
27	*看護技術演習 (担当:皮膚・排泄ケア認定看護師、成人担当者) ストーマ造設した患者の看護	遠隔授業 ・講義 ・技術演習	*オリエンテーション資料参照 課題技術の確認	60
28	*看護技術演習 (担当:成人担当者) ストーマ造設した患者の看護	遠隔授業 ・講義 ・技術演習 ・患者体験	*オリエンテーション資料参照 課題技術の確認	60
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	基礎看護学演習(看護過程)、形態機能学、疾病各論、薬理学、看護のための臨床検査、成人看護学概論、成人慢性期看護方法論、成人急性期看護方法論で学んだ既習の知識及び生活・診療援助技術の確認。必要なテキスト・資料類は授業に持参してください。			
テキスト	リンダJ.カルペニート:看護診断ハンドブック第11版 医学書院			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	成人看護学概論、成人慢性期看護方法論および成人急性期看護方法論で用いた教科書・資料 マジョリー・ゴードン著、江川隆子訳:ゴードン博士の看護診断アセスメント指針 照林社 臨床検査学、薬学、疾病学、形態機能学、基礎看護学等に関連する図書・資料 永田明、石井ふみよ(監):看護がみえる vol.4 看護過程の展開 メディックメディア			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	演習内容の詳細については、別途資料を配布します。 毎回、グループワークの前準備として、個人ワークの課題を出します。グループワークに効果的に参加するために既習の科目や関連図書を参考にして準備をしましょう。 *「ストーマ造設した患者の看護」は、外部講師の予定により進行順を変更する可能性があります。			

達成度評価に関するコメント	達成度評価は、定期試験 30%、レポート(看護過程ファイル、グループワーク参加状況、グループワーク成果など)40%、その他(看護技術課題、技術試験など)30%により評価を行います。
---------------	--

